

引数 y に受け取った4桁の正の整数値を西暦年とみなし、それがうるう年か否かを判定する。うるう年とは、西暦年が次の条件を満たす年である。

- (1) 400で割り切れる。
- (2) 4で割り切れ、100で割り切れない。

```
○ isleap(整数型 : y)
  論理型 : leap ← false
  if (y mod 400)が0と等しい)      /* modは剰余演算子 */
    leap ← true
  elseif (y mod 4)が0と等しい)
    if (y mod 100)が0と等しくない)
      leap ← true
    endif
  endif
  if ( (1) )
    "うるう年でない" と出力
  else
    "うるう年である" と出力
  endif
```

解答群 **A** leapがtrueと等しい **I** (not leap)がtrueと等しい

入力装置から0以上の数値を変数dataに読み込み、その和を求める。数値は0件以上入力され、負の数値が入力されるまで処理を繰り返す。

```
実数型 : ans, data
ans ← 0.0
dataに数値を入力
while (dataが0.0以上)
  (1)
  dataに数値を入力
endwhile
ansを出力
```

解答群 **A** ans ← data **I** data ← ans + data
 ウ ans ← ans + data